

博物館

1. 基本理念

- ・市民の創造性を高めます。
- ・郷土を大切にすることを育みます。
- ・世代をつなぎます。
- ・歴史を未来に活かします。
- ・学校教育をより豊かなものにします。

2. 施設の概要

- ・名称 四日市市立博物館
- ・所在地 四日市市安島一丁目3番16号
- ・開館年月日 平成5年11月2日
- ・敷地面積 1,845.840 m²
- ・建設面積 1,590.397 m²
- ・延床面積 10,147.108 m²
- ・建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造
地下2F、地上6F

・主な室名と面積

| | | |
|------------|---------|--------------------------|
| 展示・教育部門 | | 2,156.155 m ² |
| 常設展示室 | 2 F | 564.691 m ² |
| 常設展示室 | 3 F | 454.618 m ² |
| 特別展示室 | 4 F | 594.798 m ² |
| ラウンジ | 2～4 F | 281.020 m ² |
| 情報コーナー | 1 F | 118.810 m ² |
| 講座室 | 1 F | 142.218 m ² |
| 収蔵部門 | | 1,256.230 m ² |
| 収蔵庫 | B 2 F | 243.290 m ² |
| 収蔵庫 前室 | B 2 F | 38.880 m ² |
| 収蔵庫 | B 1 F | 282.170 m ² |
| 収蔵庫 | B 1 F | 384.496 m ² |
| 収蔵庫 前室 | B 1 F | 76.086 m ² |
| 荷解室 | 1 F | 231.308 m ² |
| 研究部門 | | 430.207 m ² |
| 作業室 | 2 F | 60.464 m ² |
| 資料整理室 | B 1 F | 84.370 m ² |
| 文献資料室 | 3 F | 37.952 m ² |
| 資料評価室 | 4 F | 33.300 m ² |
| くん蒸室 | B 1 F | 43.070 m ² |
| スタジオ暗室 | B 1 F | 87.510 m ² |
| ビデオ編集室 | B 1 F | 16.882 m ² |
| 会議室 | 4 F | 37.952 m ² |
| 会議室 | 3 F | 28.707 m ² |
| プラネタリウム部門 | | 1,714.282 m ² |
| 客室(ドーム) | 5 F～6 F | 565.017 m ² |
| 天文学習室 | 5 F | 59.081 m ² |
| 天文展示コーナー | 5 F | 194.763 m ² |
| プラネタリウム事務室 | 5 F | 59.326 m ² |
| 空調機械室 | 5 F～6 F | 836.095 m ² |
| 管理・一般部門 | | 4,590.234 m ² |
| 事務室 | 3 F | 105.059 m ² |
| 館長室 | 2 F | 37.001 m ² |



| | | |
|-------------------------|-------|--------------------------|
| 会議室 | 2 F | 50.422 m ² |
| ミュージアムショップ | 1 F | 28.723 m ² |
| 警備室 | 1 F | 20.812 m ² |
| 中央監視室 | B 2 F | 44.064 m ² |
| 設備機械室 | B 2 F | 486.190 m ² |
| 電気室、発電機室 | | 240.152 m ² |
| 倉庫、展示備品庫など | | 3,577.811 m ² |
| プラネタリウム | | 1,714.000 m ² |
| ドーム径 18.5m 傾斜型(傾斜度 20度) | | |
| 座席 | 155 席 | |
| ヘリオス | | |
| 全天周映画 | 可能 | |

3. 展示等事業

(1) 常設展示

博物館の常設展示は、基本テーマ「伊勢湾(うみ)と鈴鹿山脈(やま)のある四日市の文化と生活環境」をもとに地質時代から現代に至る「四日市のあゆみ」をその時代ごとの特色を生かし、テーマ1～テーマ6に分けて展示する。

各テーマのスペースでは、そのテーマのメインとなる展示とその他の詳細な展示に分け、展示資料に応じて実物や複製品、情景模型のほか映像や図表などで表現している。

また、文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民の丹羽文雄の業績を永く伝えていくため丹羽文雄記念室を常設する。

・テーマ1 北勢地域のおいたちと自然環境

テーマ展示では、本市平津町で発見されたアケボノゾウの臼歯の化石とその全身骨格の復元模型を展示している。

詳細展示では、「自然のすがた」「大地のおいたち」「化石は語る」など現在までの伊勢湾や鈴鹿山脈、伊勢平野の地形と地質の成り立ちや自然環境の様子を展示している。

・テーマ2 原始・古代の人びとの生活

テーマ展示では、縄文・弥生・奈良各時代の集落の様子や古墳時代の前方後円墳の築造過程を情景模型で展示している。

詳細展示では、「石器を使った人びと」「土器を使った

人びと」「米づくりと青銅器の製作」「大和朝廷と北勢地域」「古墳の築造と渡来人の活躍」「律令国家への道」など、旧石器時代から縄文・弥生・古墳・飛鳥・奈良時代を経て平安時代までの人々の生活の様子を展示している。

・テーマ3 『四日市』と『四日市庭浦』の成立

テーマ展示では、市名の由来となった中世後期の市や町並みの様子を推定復元し、情景模型で展示している。

詳細展示では、「中世の武士と商人」「伊勢湾諸湊と四日市庭浦」「くらしと生活用具」「いのりと信仰の世界」など、「四」のつく日に定期的に市が開かれて、『四日市』の名称が起ったこと、伊勢湾の水運にも『四日市庭浦』が重要な役割を果たしたことを中心に鎌倉時代から安土桃山時代までの様子を展示している。

・テーマ4 東海道と伊勢参宮道の賑わい

テーマ展示では、情景模型に映像を内蔵した特殊映像装置を用い、東海道と伊勢参宮道の分岐点である日永の追分の賑わいを再現している。

詳細展示では、「近世への胎動」「宿場と東海道」「四日市湊と町の展開」など四日市が東海道五十三次の四十三番目の宿駅として、また日永が伊勢参宮道との分岐点として発展してきた江戸時代の様子を展示している。

・テーマ5 四日市港と近代産業の発展

テーマ展示では、大正時代の市中心部の装置模型や旧四日市港の潮吹き堤防の情景模型を展示している。

詳細展示では、「みなとの整備」「近代のくらしと社会」「地場産業と近代産業」など本市の近代化の大きな礎となった四日市湊の改修と機械生産の技術導入による製糸をはじめ製茶、製綱、製油、萬古焼の地場産業に焦点を当て、また、幕末、明治以降から市制を施行し次第に市域を拡大していく昭和初期までの近代の様子を展示している。

・テーマ6 戦災からの復興と都市の創造

テーマ展示では、本市の重要な産業である石油化学工業を映像や装置模型で展示している。

詳細展示では、「戦後のあゆみ」「港湾産業都市としての再生」「石油化学工業」「四日市港の輸出入」など。また情景模型に映像を内蔵した特殊映像装置を用いて甚大な被害をもたらした四日市空襲とその後の復興を再現するとともに、産業都市として再生してきた現代の様子を市民生活と産業の二つの視点から取り上げている。

・コーナー展示 浮世絵四日市・四日市祭り

四日市が描かれた浮世絵と、戦前には「東海三大祭り」のひとつに数え上げられた四日市祭りの代表的な山車や練り物を縮尺1/20と1/40の復元模型で展示している。

・丹羽文雄記念室

文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民の丹羽文雄(平成17年4月逝去)の足跡と業績を紹介している。丹羽作品の初版本や豪華本を始め、芸術家のための健康保険組合の創設、「文学者之墓」の建立など、文学者の社会的地位の向上に尽力し、日本文藝家協会理事長を長く務め

た功績などを展示している。

また、20数年にわたって丹羽が私費を投じて刊行した雑誌「文学者」の同人たちが集った丹羽邸応接間も再現されている。

(2)特別展・企画展

「世界遺産への歩み - 20世紀モダニズム建築の巨匠 - ル・コルビュジエ光の遺産」展

・期 間：平成20年4月26日(土)から
6月22日(日)までの50日間

・入場者： 8,081人

・関連事業(講演会) [場所：講座室]

| | | |
|-----|--------------------|-------------|
| 演 題 | 「ル・コルビュジエの絵画と芸術」 | |
| 日 時 | 平成20年6月1日(土) | 14:00~15:30 |
| 講 師 | 林 美佐(ギャルリータイセイ学芸員) | |

「おもちゃと模型のワンダーランド」展

・期 間：平成20年7月5日(土)から
9月7日(日)までの56日間

・入場者： 9,490人

・関連事業(講演会) [場所：講座室]

| | | |
|-------|------------------|-------------|
| テ ー マ | 「アメリカのおもちゃ」 | |
| 日 時 | 平成20年8月17日(土) | 14:00~15:30 |
| 講 師 | マット・ジョーンズ(暁中高教諭) | |

・同時開催事業(三重県立博物館移動博物館事業)

[場所：市民ギャラリー]

「三重のおもちゃたち」展

「2008 イタリアボローニャ国際絵本原画」展

・期 間：平成20年10月4日(土)から
11月3日(日)までの27日間

・入場者： 6,159人

・関連事業(子ども博物館教室) [場所：講座室]

| | | |
|-------|----------------|-------------|
| テ ー マ | スズキコージとあそぼう! | |
| 日 時 | 平成20年10月18日(土) | 10:00~12:00 |
| 講 師 | スズキコージ(絵本作家)他 | |

「歓喜する岡本太郎」展

- ・期 間：平成20年11月15日（土・祝）から
平成21年1月12日（日・祝）までの44日間
- ・入場者： 7,214人
- ・関連事業（講演会） [場所：講座室]

| | | |
|-------|----------------------|--------|
| テ ー マ | 駆け抜ける岡本太郎 | |
| 日 時 | 11月29日（土） | 13:00～ |
| 講 師 | 村田 慶之輔（川崎市岡本太郎美術館館長） | |

「第50回 北勢高校美術展」

- ・期 間：平成21年1月20日（火）から
1月25日（日）までの6日間
- ・入場者： 390人

「昭和はくぶつかん」

- ・期 間：平成20年1月31日（土）から
平成21年3月22日（日）までの44日間
- ・入場者： 7,403人

(3)特別陳列・学習支援展示

| |
|--|
| 学習支援展示 |
| 平成20年4月19日（土）～6月8日（日） 「大昔の四日市 - 弥生時代と古墳時代」 |
| 平成20年6月14日（土）～8月31日（日） 「四日市空襲と戦時下の暮らし」 |
| 平成20年12月20日（土）～1月25日（日）（サルビアギャラリー） 1月31日（土）～3月22日（日）（4F 特別展示室） 「むかしの暮らし」 |

4. 教育普及事業

(1)文学にであう

テーマ：鑑賞・丹羽文雄の世界 [場所：講座室]

| | |
|-----|--|
| 日 時 | 平成20年7月12日（土）・19日（土） 8月23日（土）・30日（土） 14:00～15:30 |
| 講 師 | 永井 博（四日市大学准教授） |

(2)子ども博物館教室

ワークショップ（全6回）

[場所：講座室及び館内]

| | | | |
|--------|---|--------------------|----------------|
| 5月17日 | 土 | さあ、君も建築家だ！夢の家をつくろう | 当館指導主事 野口 裕 |
| 6月14日 | 土 | 四日市空襲のおはなしを聞こう | |
| 7月19日 | 土 | 博物館を探検しよう！ | 当館学芸員 中野千幸 |
| 7月26日 | 土 | おもちゃを手づくりしよう | |
| 10月4日 | 土 | 絵本をつくろう | |
| 11月15日 | 土 | 芸術は爆発だ！ | |

古代米づくりと土器づくりシリーズ（全7回）

| | | | |
|--------|---|----------|-------------------------------------|
| 5月11日 | 日 | 古代米の田植え | 当館学芸員 中野千幸 当館指導主事 野口 裕 |
| 6月7日 | 土 | 土器づくり | |
| 7月12日 | 土 | 田の草取り | |
| 8月9日 | 土 | 土器の野焼き | |
| 10月11日 | 土 | 石包丁で稲刈り | |
| 11月1日 | 日 | たて杆と臼で脱穀 | |
| 11月12日 | 土 | 土器で炊飯 | |

むかし体験シリーズ（全6回）

| | | | |
|-------|---|--------------------|----------------|
| 2月1日 | 日 | 暮らしの道具を つかってみよう | 当館指導主事 野口 裕 |
| 2月21日 | 土 | | |
| 2月7日 | 土 | 昭和っ子の あそびをしよう | 当館学芸員 中野千幸 |
| 2月22日 | 日 | | |
| 2月8日 | 日 | おやつをつくろう | |
| 2月28日 | 土 | | |

(3)教員のための体験的博物館研修

| | | | |
|-------|---|--------------------|---------------|
| 8月19日 | 火 | 教員のための 体験的博物館研修 | 当館企画普及係 職員 |
|-------|---|--------------------|---------------|

5. 資料収集・保存

(単位：件)(平成21年3月末現在)

| 1 人 文 学 資 料 | 区 分 | | 実 物・標 本 | | 模 型 複 写 |
|----------------------------|-------|--------|---------|-----|------------|
| | (1)考古 | | 896 | | 29 |
| (2)美術工芸 | | 2,502 | | 10 | |
| (3)民俗 | | 3,549 | | 10 | |
| (4)歴史 | | 7,447 | | 37 | |
| (5)文学 | | 4,475 | | 0 | |
| 計 | | 18,869 | | 86 | |
| 図書 | 8,578 | 写真 | 67 | その他 | 110 |

| 2 自 然 科 学 資 料 | 区 分 | | 実 物・標 本 | | 模 型 複 写 |
|---------------------------------|---------|-------|---------|-----|------------|
| | (1)動物資料 | | 0 | | 0 |
| (2)植物資料 | | 3,272 | | 0 | |
| (3)地学資料 | | 93 | | 2 | |
| (4)理工学資料 | | 0 | | 0 | |
| (5)天文資料 | | 7 | | 0 | |
| (6)その他の資料 | | 0 | | 1 | |
| 計 | | 3,372 | | 3 | |
| 図書 | 544 | 写真 | 59 | その他 | 10 |

6. プラネタリウム事業

季節番組を二種類（一般向けと家族向け）に分け、放映方式を継続・充実させた。一般向け番組は自主企画で制作し、50分間のフルライブ解説とした。また、星空をゆっくりと眺めたいといわれる市民のニーズに応えるために、季節を代表する星座を2ヶ月毎に内容を替えて紹介する「星座神話番組～神話の星めぐり～」を放映した。また、家族向け番組は、市制111周年にあわせて特別番組とし、四日市の自然や歴史の紹介を番組の前半に、宮沢賢治の作品を後半に放映した。また、子どもたちによく読まれているアンデルセン童話のプラネタリウム版を採用した。

市民が天文・科学をより詳しく学習する機会として、「宇宙塾」を年4回実施した。その他、聴覚障害者にも配慮した字幕付き放映、園児や児童を対象とした学習放映、各種コンサート、香りと星空を楽しむ企画「アロマと星の旅」を実施した。

天文普及活動では、番組と関連をもたせた展示や観望会の実施、子ども天文教室、少年自然の家との連携事業、小・中学校との連携による授業など各種の事業を実施し、幅広く天文の普及に努めた。

プラネタリウム放映事業

(1) 季節番組

| |
|---|
| 平成20年4月1日(日)～平成20年5月31日(土) 星座神話番組:12星座物語 4月「しし座特集」、5月「おとめ座特集」 平成20年6月1日(日)～平成21年5月31日(日) 星座神話番組:神話の星めぐり 6月～7月「こと座・わし座と七夕物語」、8月～9月「はくちょう座からみなみじゅうじ星へ～『銀河鉄道の夜』の旅～」、10月～11月「カシオペアとアンドロメダ姫物語」、12月～1月「オリオンと月の物語」、2月～3月「いっかくじゅう座」、4月～5月「かみのけ座」 |
| 平成20年2月2日(土)～5月25日(日) 冬春番組:(一般)「おじいさんおばあさんが伝えた ふるさとの星」 (家族)「ムーミン谷の物語 星と花のセレナーデ」 |
| 平成20年5月31日(土)～9月28日(日) 夏番組:(一般)「最新報告!『かぐや』の 本当は深い月の科学」 (家族)「地上の星と銀河の星『銀河鉄道の夜』」 |
| 平成20年10月4日(土)～平成21年1月25日(日) 秋冬番組:(一般)「オーストラリア星紀行」 (家族)「地上の星と銀河の星『銀河鉄道の夜』」 |
| 平成21年1月31日(土)～5月31日(日) 冬春番組:(一般)「ガリレオ - その時地球が動いた - 」 (家族)「はだかのおうさま 月へいく」 |

上記～の番組については、各1回字幕付き放映を実施(は21年度に実施)

(2) 学習番組(団体利用放映)

| |
|--|
| ・平日の午前 10:00 11:00 |
| ・保育園、幼稚園、小・中学校、高校等の団体対象 |
| ・季節の星座を中心に、年齢・学年に応じた、生解説による 双方向型の学習用プラネタリウム |

< 季節番組・学習番組の放映時刻 >

| 平日 (午前は団体のみ) | 学習 10:00 11:00 | 一般向け 13:20 | 一般向け 14:40 | |
|-----------------------------|----------------------|---------------|---------------|---------------|
| 土曜日 春夏秋冬休みの 平日 | 家族向け 10:30 | 家族向け 13:20 | 一般向け 14:40 | 一般向け 16:00 |
| 日曜日・祝日 春夏秋冬休みの 土・日・祝日 | 家族向け 10:30 | 家族向け 13:20 | 一般向け 14:40 | 家族向け 16:00 |

(3) 特別番組

| |
|------------------------|
| 「宇宙塾」～天文楽しませんか?～ (全4回) |
|------------------------|

・天文学最前線で活躍中の研究者を講師として迎えて、最新の話題や実験質問、体験講座を織り交ぜた、プラネタリウム特別版
 平成20年8月25日(月)14:00～16:00
 講師:三重大学教育学部准教授 伊藤 信成
 「教員のための宇宙塾『四日市でできる太陽観察』」
 平成20年9月6日(土)16:30～18:00
 講師:宇宙航空研究開発機構 名誉教授 的川 泰宣
 「宇宙と教育について
 ～宇宙が子どもたちの心に『火』をつける～」
 平成20年10月25日(土)16:30～18:00
 講師:デジタルファインアーティスト KAGAYA
 「KAGAYA作品が生まれるとき」
 平成21年2月8日(日)16:30～18:30(ノーベル賞記念拡大版)
 講師:名古屋大学大学院理学研究科教授 杉山 直
 「最新宇宙論に挑戦!～宇宙の始まり、果てを見る!～」

は、天文教室研修会と兼ねて実施

クリスマス特別放映 (全4回)
 ・10:30～11:20, 13:20～14:10, 14:40～15:30, 16:00～16:50
 平成20年12月25日(木)
 「アロマとクリスマスの北欧の風景とオーロラ映像」
 10:30の放映は、家族向け番組「銀河鉄道の夜」を放映

天文普及事業
 子ども天文教室 (全2回)
 夏コース
 日時:平成20年8月16日(土)11:30～15:30
 内容:天文工作(5種類)
 きらら号での木星観望会18:30～20:00
 冬コース
 日時:平成21年2月14日(土)11:30～15:30
 内容:天文工作(3種類)
 きらら号での太陽観望会15:30～17:00

星空生演奏コンサート (全3回)
 平成20年7月4日(金)19:00～20:30
 「七夕コンサート」
 演奏:ハープ&フルート
 平成20年10月31日(金)19:00～20:30
 「秋の夜長コンサート」
 演奏:マリンバアンサンブル
 平成20年12月19日(金)18:00～19:30
 「クリスマスコンサート」
 演奏:暁高校合唱部

公開観望会
 ペルセウス座流星群観望会
 日時:平成20年8月12日(火) 19:00～21:00
 場所:星の広場(水沢町)
 夏の大三角と天の川観望会
 日時:平成20年8月30日(土) 19:00～21:00
 場所:星の広場(水沢町)

星空CDコンサート (全5回)
 ・19:00～20:00 (のみ16:30～17:30の回も実施)
 平成20年6月13日(金)
 初夏の星と「小田和正特集」
 平成20年8月8日(金)
 真夏の星空と「サザンオールスターズ30周年特集」(2部制)
 平成20年10月10日(金)
 秋の星空と「徳永英明特集」
 平成21年3月6日(金)
 早春の星空と「卒業ソング特集」

御在所ロープウェイとの連携事業
 ございしょナイトワールド
 日時:平成20年8月2・3日(土・日)1泊2日、
 8月9・10日(土・日)1泊2日
 ございしょスターでナイト
 11月29・30日(土・日)1泊2日
 活動場所:博物館プラネタリウム、御在所岳山上
 宿泊場所:御在所岳山上「レストラン アゼリア」

アロマと星の旅(全5回)
 ・5月13日(火)～16日(金)の11:00～11:50
 5月18日(日)の16:00～16:50
 古代エジプト紀行
 「クレオパトラが愛したバラの香りと
 古代エジプトの星空旅行」

少年自然の家との共催による観望会
 アウトドアセミナー2
 ～望遠鏡の製作と星空観察会～
 日時:平成20年8月26日(火)
 場所:少年自然の家
 スペースキャンプ「めざせ!ガリレオ博士」
 ～プラネタリウム観覧と天文工作、星空観察会～
 JST地域活動支援事業からの支援で実施
 日時:平成20年12月6・7日(土・日)1泊2日
 場所:博物館、少年自然の家

| |
|---|
| 天文教育研修会 |
| ・教育センターなどと共催で、主に教員を対象 小学校三泗理科教育研究協議会(地学部)研修 平成20年5月21日(水)16:00～16:50 講師:天文係 教職員新規採用者研修 平成20年6月5日(木)9:10～10:10 講師:天文係 月の観察のための教具製作 平成20年8月11日(月)14:00～16:00 講師:天文係 教員のための宇宙塾 平成20年8月25日(月)14:00～16:00 講師:三重大学教育学部准教授 伊藤 信成 |

| |
|---|
| 学校との連携授業 |
| ・市内、三重郡の小中学校を対象に、出前授業を実施 「バーチャル星空探検」 平成20年9月～11月の火～金曜日 対象:小学校4年生 内容:月の動きやスペースシャトルと国際宇宙ステーションについて、立体映像装置を用いて学習する。 実施校数:20校(市内17校、三重郡3校) 移動式プラネタリウム 平成20年10月～平成21年1月の火～金曜日 対象:中学校3年生 内容:星の日周運動や年周運動、銀河系と太陽系、皆既日食などについて学習する。 実施校数:18校(市内14校、三重郡4校) |

7. 移動天文車「きらら号」事業

口径 20cm の天体望遠鏡をのせた移動天文車による星空観望会を実施した。天文ボランティアの方々の協力を得て、子どもから大人まで多くの人に実際の宇宙の姿を眺めていただいた。

(1) 派遣事業

要請により市内各地へ出動し、天文ボランティアの協力を得て観望会を行った。

| |
|---|
| 「きらら号」稼働状況(派遣事業のみ) |
| 稼働予定件数 48件 (うち派遣回数 33回、中止時の天文教室回数7回) 参加者数 2,973人 (うち中止時の天文教室参加者数 500人) ボランティア数 延べ117人 |

(2) 主催事業

| |
|--|
| 「きらら号」稼働状況(主催事業のみ) |
| 稼働予定件数 25件(うち実施回数 20回) 参加者数 2,304人 ボランティア数 延べ107人 |
| 月と土星を見よう! 日時:平成20年5月17日(土) 19:00～20:30 場所:桜地区運動広場 月と土星を見よう! 日時:平成20年6月7日(土) 19:30～21:00 場所:富双緑地公園 木星を見よう! 日時:平成20年7月26日(土) 19:30～21:00 場所:市民公園(博物館前) サンデー太陽観望会&木星を見よう! 日時:平成20年8月3日(日) 15:00～18:30、19:00～21:00 場所:四日市港(ポートビル前) 木星を見よう! 日時:平成20年8月16日(土) 19:00～20:30 場所:市民公園(博物館前) 木星を見よう! 日時:平成20年9月6日(土) 19:00～20:30 場所:市民公園(博物館前) サンデー太陽観望会 日時:平成20年9月28日(日) 10:00～15:00 場所:楠中央緑地 月と木星を見よう! 日時:平成20年10月11日(土) 18:30～20:00 場所:イオンパワーシティー四日市 月と木星を見よう! 日時:平成20年10月12日(日) 18:30～20:00 場所:イオンパワーシティー四日市 木星とアルビレオを見よう! 日時:平成20年10月25日(土) 18:30～20:00 場所:市民公園(博物館) 月と木星を見よう! 日時:平成20年11月2日(日) 17:30～19:00 場所:日永カヨー スペースキャンプ 日時:平成20年12月6日(土) 19:00～21:00 場所:少年自然の家 月と金星を見よう! 日時:平成20年12月7日(日) 17:30～19:00 場所:市民公園(博物館) 望遠鏡で初日を見よう! 日時:平成21年1月3日(土) 13:00～15:00 場所:イオン四日市北店 望遠鏡で初日を見よう! 日時:平成21年1月4日(日) 13:00～15:00 場所:イオン四日市北店 月と金星を見よう! |

| |
|--|
| 日時:平成 21 年 2 月 7 日(土) 18:30~20:00 場所:市民公園(博物館前) 月と金星を見よう! |
| 日時:平成 21 年 2 月 8 日(日) 19:00~20:00 場所:市民公園(博物館前) 太陽黒点やプロミネンスを見よう! |
| 日時:平成 21 年 2 月 14 日(土) 15:30~17:00 場所:市民公園(博物館前) 金星と月とすばるを見よう! |
| 日時:平成 21 年 3 月 1 日(日) 18:30~20:00 場所:イオン四日市尾平店 月のクレーターを見よう! |
| 日時:平成 21 年 3 月 8 日(日) 18:30~20:00 場所:イオン四日市尾平店 |

8. 開館時間等

開館時間

午前 9 時 30 分から午後 5 時まで
(ただし入館は閉館の 30 分前までに)

休館日

月曜日(休日の場合は翌日)及び年末年始
館内整理期間(9月上旬)

観覧料金

| 区分 | 博物館特別展示 | プラネタリウム | プラネタリウム特別番組 |
|-----|----------|---------|-------------|
| 一般 | その都度定める額 | 530 円 | その都度定める額 |
| 高大生 | | 370 円 | |
| 小中生 | 無料 | 200 円 | |

20 名以上の団体は 2 割引 博物館常設展示は無料

施設利用

| | 9~12 時 | 13~17 時 | 9~17 時 |
|--------------------------|--------|---------|---------|
| 特別展示室 595m ² | - | - | 31,500円 |
| 講座室 142m ² | 8,400円 | 12,600円 | 21,000円 |
| 市民ギャラリー-94m ² | - | - | 2,100円 |

観覧料等を徴収する場合は、100 分の 50 を乗じて得た額を加算する。

博物館の設置目的に反しないもの、事業に支障のないものに限る。

商業宣伝、営業行為には使用できない。

9. 月別入館者数

(単位:人)

| 月 | 常設展 | | 特別・企画展 | | プラネタリウム | | 月計 | |
|-------|------|--------|--------|--------|---------|------|--------|---------|
| 4月 | 26日 | 1,083 | 5日 | 521 | 23日 | 67回 | 928 | 2,532 |
| 5月 | 28日 | 2,415 | 28日 | 3,654 | 25日 | 69回 | 1,905 | 7,974 |
| 6月 | 25日 | 3,237 | 15日 | 3,906 | 20日 | 93回 | 4,076 | 11,219 |
| 7月 | 27日 | 2,508 | 27日 | 3,071 | 27日 | 103回 | 4,870 | 10,449 |
| 8月 | 26日 | 3,879 | 26日 | 5,659 | 26日 | 112回 | 7,596 | 17,134 |
| 9月 | 18日 | 861 | 11日 | 760 | 16日 | 48回 | 1,280 | 2,901 |
| 10月 | 27日 | 2,345 | 27日 | 4,843 | 25日 | 89回 | 3,733 | 10,921 |
| 11月 | 25日 | 2,980 | 7日 | 3,517 | 25日 | 90回 | 3,627 | 10,124 |
| 12月 | 24日 | 1,615 | 20日 | 2,323 | 21日 | 62回 | 1,769 | 5,707 |
| 21年1月 | 24日 | 2,915 | 18日 | 2,841 | 21日 | 73回 | 2,645 | 8,401 |
| 2月 | 24日 | 2,888 | 14日 | 4,674 | 19日 | 86回 | 2,641 | 10,203 |
| 3月 | 26日 | 2,055 | 19日 | 2,578 | 23日 | 77回 | 1,830 | 6,463 |
| 合計 | 300日 | 28,781 | 217日 | 38,347 | 271日 | 969回 | 36,900 | 104,028 |

[参考]

過去3年間の入館者数

| 年度 | 常設展 | | 特別・企画展 | | プラネタリウム | | 合計人数 |
|----|------|---------|--------|---------|---------|---------|----------|
| 19 | 297日 | 36,001人 | 219日 | 45,980人 | 275日 | 41,926人 | 123,907人 |
| 18 | 297日 | 30,978人 | 175日 | 33,098人 | 276日 | 35,264人 | 99,340人 |
| 17 | 296日 | 24,171人 | 216日 | 26,940人 | 273日 | 42,519人 | 93,630人 |